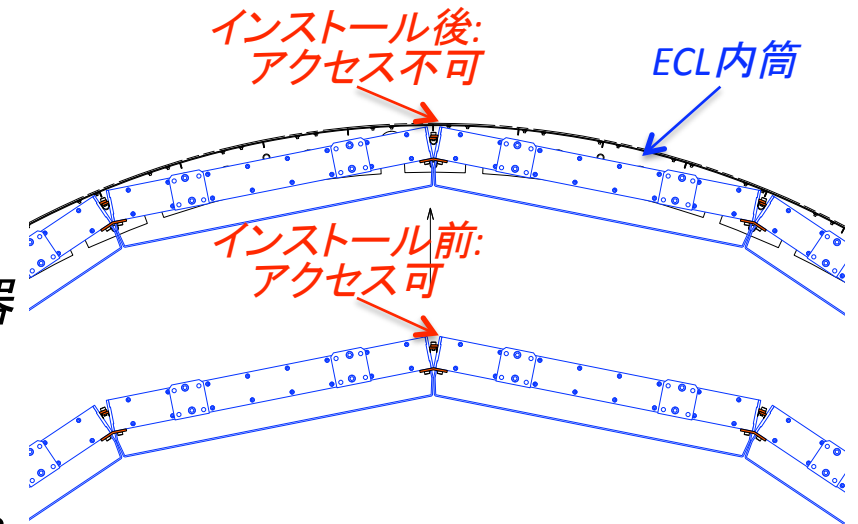
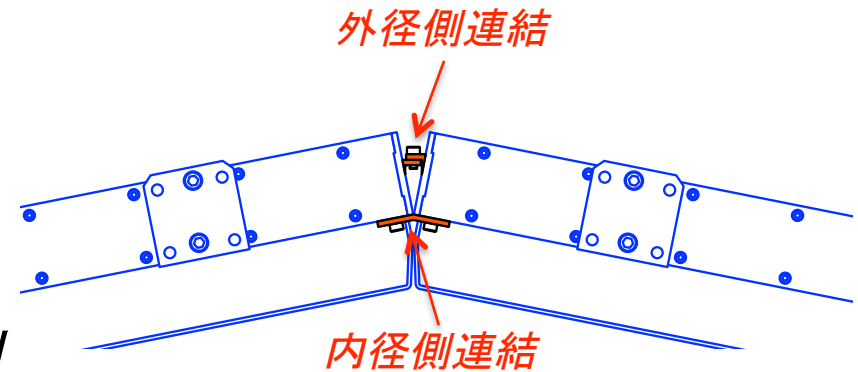


TOP Counter support structure (5)

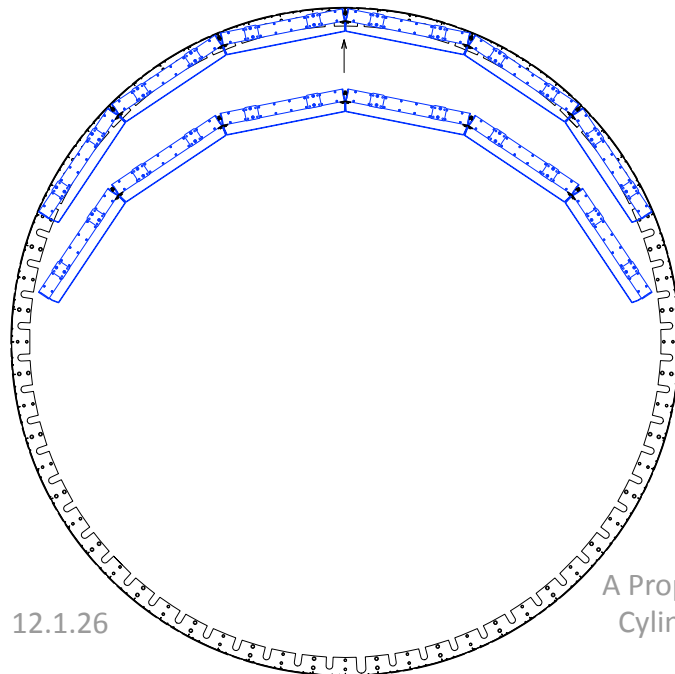
- 隣接モジュール連結の増強
 - これまでの設計では、隣接モジュール接辺近傍の底面に補強板をネジ止めするもの。
 - 内径側からのみの連結。
 - 外径側からも連結できると、さらに剛性が上がるはず。
 - 設置場所であるECL内筒面にはネジや治具等の突起物があるので、連結には工夫が必要。
 - (少なくとも外径側は)インストール前に連結する必要がある。
 - TOPカウンターは、既存のECL円筒容器の内側から、前・後方ECLフランジの間に容器内筒面に接するように設置される(よって、外径側にアクセスできない)ため。
 - なるべく多くのモジュールで外径側も連結したいが、どこかで分割しないと「内側からのインストール」は当然できない。



TOP Counter support structure (6)

-6モジュールx2の外径側連結を検討中。

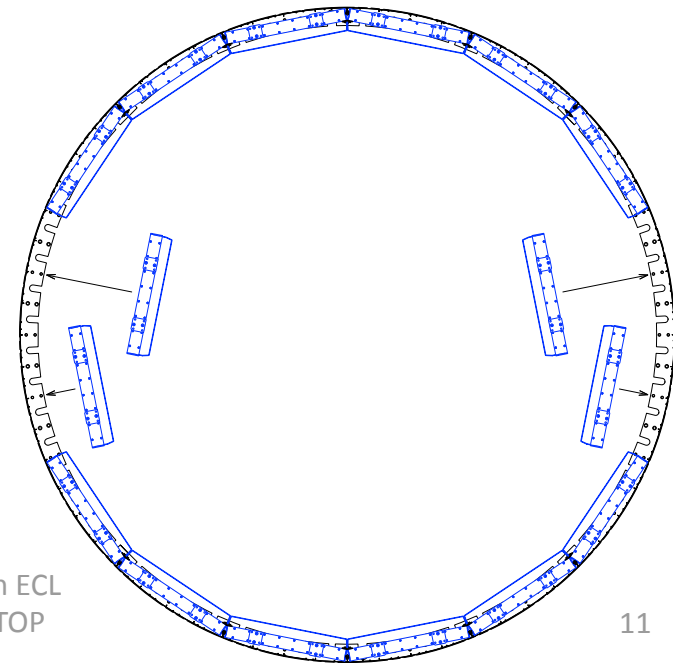
- 6モジュールを治具上で組み立て、内径側・外径側ともに連結し、低剛性の水平配置になる上・下部にインストール。
- 残りの4モジュールは、高剛性の鉛直配置になる左・右部にインストールされるため、1台ずつインストールして、内径側のみ連結。
 - ✓外径側を2台ずつ連結すると、連結されたモジュールはインストールできなくなってしまう。
 - ✓これは、連結された複数のモジュールがインストールされる際の各モジュールの進行方向と、1台ずつインストールする際のモジュールの進行方向が異なるためで、残った隙間へのインストール時に起こる。



12.1.26



A Proposal for the Production of an ECL
Cylinder Mock-up for the Belle II TOP
Counter



11